

## 【マクロ経済】

### ・ザンビアのPMI、8月に51.2へ上昇

ザンビアの購買担当者景況指数(PMI)の総合指数は、7月の50.1から8月には51.2に上昇し、民間部門の事業環境が控えめながらも着実に改善していることを示した(Daily Nation 9月6日)。

### ・ザンビア、デジタル決済が急成長

ムソコトワネ財務・国家計画大臣は、国民の3分の2にあたる1,290万人以上がモバイルマネーを積極的に利用しており、デジタル決済は年間で二桁成長していると述べた。2023年のザンビアにおけるモバイル決済額は4,520億クワチャに達し、2022年の2,958億クワチャから52.8%増加した(Daily Mail 9月6日)。

### ・ECFの下でIMFとザンビアの協力が成功

国際通貨基金(IMF)のザンビア常駐代表エリック・ローティエ氏は、拡大信用ファシリティ(ECF)の下でのザンビアとの協力は成功していると述べた。ザンビアは2022年8月に開始した38か月のECFプログラムを実施中で、IMFはマクロ経済の安定と財政の持続可能性を支援している(Daily Mail 9月9日)。

### ・ザンビア経済成長中

ヒチレマ大統領は、新政権の下で2021年から2024年までの経済成長率は平均5.2%であり、前政権下の2017-2020年の3倍以上である旨述べた(Times of Zambia 9月13日)。

### ・ムソコトワネ大臣、IMF延長を歓迎

ムソコトワネ財務・国家計画大臣は、IMF理事会が拡大信用ファシリティ(ECF)が2026年1月30日までの3か月間の技術的延長を承認したことを歓迎した(Times of Zambia 9月17日)。

### ・新紙幣発行後のリスク管理 - 中銀

3月の新紙幣発行及び9月1日の改刷K50・K100紙幣の流通開始を受け、ザンビア中銀のデニー・カリヤリヤ総裁は、持続不能な通貨供給拡大を避け、国民の期待を適切に管理し、財政の基盤的な脆弱性が生じないよう積極的にリスク管理を行っていることを述べた(Daily Mail 9月18日)。

### ・中銀、米国関税を警戒

ザンビア中銀のデニー・カリヤリヤ総裁は、米国の輸出関税変更により世界市場に多くの不確実性が生じていることを認識していると述べた(Times of Zambia 9月19日)。

### ・ザンビアの将来展望は良好

商品市場の専門家は、世界的な銅需要がエネルギー転換を牽引することから、ザンビアの長期的展望は良好だと述べた(Daily Mail 9月23日)。

### ・インフレ率が低下

ザンビアの年間インフレ率は6か月連続で緩和しており、2025年4月の16.5%から9月には12.3%に低下した(Times of Zambia 9月26日)。

### ・外債残高、157.8億ドルに増加

ムソコトワネ財務・国家計画大臣は、ザンビアの対外債務残高が2024年12月

末の 154.3 億ドルから 2.3%増の 157.8 億ドルに膨らんだと発表した (Daily Nation 9 月 28 日)。

#### **・政府、2,531 億クワチャ予算を発表**

ムソコトワネ財務・国家計画大臣は、2026 年度国家予算として 2,531 億クワチャを発表した。2025 年度の 2,171 億クワチャから 16.6%増加しており、国内財源確保の強化が強調されている (Daily Mail 9 月 27 日)。

#### **・ザンビアは債務再編 94%でも依然デフォルトの評価**

ザンビアは 157 億ドルの対外債務の 94%を再編したが、ンクルクサ財務官は、残りの民間債権者との交渉が終了するまで、国際格付け機関は依然としてザンビアをデフォルト状態と評価し続けると警告した (Times of Zambia 9 月 30 日)。

#### **・国際準備高、49 億ドルに**

ザンビア中銀によると、2025 年 7 月末時点の総国際準備高は 49 億ドルに達し、少なくとも 4.8 か月分の輸入分に相当する規模となった (Times of Zambia 9 月 30 日)。

### **【エネルギー】**

#### **・ZRA、カリバダムに 2,000 枚の浮体式太陽光パネルを設置へ**

ザンベジ川当局 (ZRA) は、カリバ北発電所の電力供給を強化するため、カリバ湖に約 2,000 枚の浮体式太陽光パネルを設置する計画である (Daily Mail 9 月 13 日)。

#### **・1,000 メガワット実現に向け進展**

ザンビア電力公社 (ZESCO) と複数の独立発電事業者 (IPP) は、1,000 メガワット

の太陽光発電に関する方針の実現に向けて進展を見せている (Times of Zambia 9 月 17 日)。

#### **・エネルギー危機、政府の施策が効果**

チコテ・エネルギー大臣は、政府のエネルギー危機解決策が効果を上げており、シナゾングウェのマアンバ・ソーラー・エナジー社が 1,090 メガワットの太陽光発電プロジェクトを推進していると述べた (Times of Zambia 9 月 23 日)。

#### **・ASCENT、2,000 万人に電力提供 - ザンビアもクリーンエネルギー推進に参加**

ASCENT (持続可能性とクリーンエネルギーアクセス変革加速化) プログラムは、昨年の開始以来、東部・南部アフリカで 2,000 万人に電力を供給し、同地域のエネルギー不足への対応で大きな一歩を踏み出した (Daily Nation 9 月 24 日)。

#### **・政府、カピリ・ムポシに LHPC 向け 27MW 太陽光発電プロジェクトを開始**

政府は、中央州カピリ・ムポシ郡において、ルンセムファ水力発電会社 (LHPC) 向けの出力 27 メガワットの太陽光発電プロジェクト建設を開始した (Times of Zambia 9 月 25 日)。

### **【保健】**

#### **・北部で 7 万 3 千回分のコレラワクチン投与**

北部州保健局は、ムプルング郡でのコレラ発生を受け、住民に経口コレラワクチン 7 万 3 千回分の投与を開始した。コレラ症例は現在 80 件に達しており、最初の症例は先月に記録された (Sunday Mail 9 月 7 日)。

#### **・政府、電子医療登録システム導入へ**

政府は、国の医療サービスの改善を目的として、電子医療登録システムを導入する計画を発表した(Times of Zambia 9月11日)。

#### ・政府、子ども向けマラリアワクチン開始へ

政府は、生後6~8か月の子どもを対象にマラリアワクチンの投与を開始する予定である。(Daily Nation 9月14日)。

#### ・救急車119台、医療体制を強化

ヒチレマ大統領は、強化された地方創生基金(CDF)を通じて調達した救急車119台を各地方自治体に引き渡した(Daily Mail 9月18日)。

#### ・コレラ流行:死者2人、感染174件

政府は、北部州ムプルング郡で8月5日に始まった流行以来、全国で174件のコレラ症例と2人の死者が確認されたと発表した(Times of Zambia 9月19日)。

#### ・ザンビア、HIV新規感染が減少

最新のHIV推計によると、ザンビアはHIV対策で大きな進展を遂げ、年間新規感染者数は2005年の67,585人から2025年には29,729人に減少した(Times of Zambia 9月19日)。

#### **【鉱業】**

#### ・シノ・メタルズ、閉鎖継続

ンゾヴ・グリーン経済・環境大臣代行は、汚染環境が完全に浄化され、尾鉱ダムが定められた条件を満たすまで、シノ・メタルズの閉鎖は継続されると述べた(Times of Zambia 9月10日)。

#### ・北西部州の金採掘者200人に許可証交付

小規模鉱業の正式化を推進する政府の

方針の一環として、北西部州の2地区で200人以上の小規模金採掘者に採掘許可証が交付される予定である(Daily Mail 9月15日)。

#### ・アプライド・サイエンス・ザンビア社、シノ・メタルズ汚染を調査へ

ザンビア環境管理庁(ZEMA)は、今年初めにカフエ川へシノ・メタルズにより酸性廃水が排出された件を受け、汚染の程度を調査するコンサルタントを正式に発表した。(Sunday Mail 9月21日)。

#### **【農業】**

#### ・ザンビア、大規模な灌漑拡大を目指す

政府は、農業生産性の向上、気候変動への強靱性と食料安全保障の強化を目的として、灌漑面積を現在の20万haから50万haへ拡大するという意欲的な目標を掲げている(Daily Mail 9月1日)。

#### ・1,080万米ドルのコメ事業がルアプラ州に

ルアプラ州マンサでは、コメ種子の生産及び研修センターの設立を目的とした1,080万米ドル規模の無償資金協力プロジェクトの建設を受け、年間1万トン以上のコメ生産を見込んでいる。このプロジェクトはJICAの支援を受け、ザンビア農業研究所(ZARI)を通じて実施されている。(Daily Mail 9月17日)。

#### **【ビジネス】**

#### ・COMESA:皮革産業には未開拓の潜在力

COMESAの専門機関であるアフリカ皮革・皮革製品研究所(ALLPI)は、ザンビアの皮革産業の潜在力を引き出す取組

を進めている。同産業では 8 つのクラスターが形成されているものの、認知度の低さや国内能力の十分な活用ができていないことから、大きな市場機会を逃し続けている(Daily Mail 9 月 8 日)。

#### ・米国の農業企業、ルサカに新工場を開設

米国の Plant Catalyst 社は、米政府と世銀の支援で植物成長促進製品の生産・瓶詰・流通のため、ルサカに新たな生産施設を開設した(Times of Zambia 9 月 12 日)。

#### 【貿易】

#### ・ザンビア、牛肉輸出に向け準備 - 農家に活気、初出荷は来月予定

来月、ザンビアは歴史的な一歩を踏み出し、世界の牛肉輸出市場に参入する。これにより、畜産業は経済多角化の中心的な柱として位置づけられることになる(Daily Mail 9 月 1 日)。

#### ・国境の混乱が貿易を阻害

ザンビア商工会議所(ZACCI)は、国境検問所での非効率の常態化が貿易の流れを阻害し、地域での事業コストを押し上げていると警告した(Daily Nation 9 月 17 日)。

#### ・ザンビアの AfCFTA 効果は 4 億 7,200 万ドル

国連アフリカ経済委員会(UNECA)のコンサルタントによる最近の影響調査によれば、アフリカ大陸自由貿易圏(AfCFTA)により、ザンビアの輸出は最大 4 億 7,200 万ドル増加すると見込まれている(Daily Mail 9 月 18 日)。

#### ・銅輸出、8 月に 14.3%増

ザンビアの精錬銅輸出収入は 2025 年 8 月に前月比 14.3%増の 178 億クワチャとなり、7 月の 156 億クワチャから増加した。国際価格はわずかに下落したものの、収益は伸びた(Daily Nation 9 月 29 日)。

#### 【インフラ】

#### ・政府、ンドラ市内 16.2km の道路建設を開始

政府は、総額 6 億 4,992 万クワチャで、ンドラ市内の 16.2 キロメートルの道路建設を正式に開始した(Daily Mail 9 月 19 日)。

#### ・タザラ鉄道再生に 14 億ドル

ザンビア、中国、タンザニアは、1 年半以上にわたる交渉の末、総額 14 億ドルのタザラ鉄道再生プロジェクト契約に署名した。事業範囲には、ダル・エス・サラームからカピリ・ムポシまでの線路の復旧、主要車両基地整備、既存線の保守、34 両の新型機関車、16 両の客車、760 両の貨車の購入が含まれる(Daily Mail 9 月 30 日)。

#### 【対外関係】

#### ・トルコ・アフリカ経済フォーラム、来月開催

第 5 回トルコ・アフリカ経済ビジネスフォーラムは、トルコの対外経済関係委員会(DEIK)が主催し、同国商務省がホスト国として受け入れ、アフリカ連合(AU)が調整役を担い、2025 年 10 月 16 日と 17 日にイスタンブールで開催される予定である(Times of Zambia 9 月 17 日)

#### ・ザンビアと中国、観光・文化協力を深

## 化

ザンビアと中国は観光及び文化協力を深化させ、強固な協力枠組を構築する決意を新たにした(Times of Zambia 9月22日)。

### ・カナダ企業、ザンビアのウラン・プロジェクトで ESIA 報告書を提出

カナダの鉱業会社ゴヴィエックス・ウラン社は、南部州におけるムンタガ・ウラン・プロジェクトについて、環境社会影響評価(ESIA)報告書をザンビア環境管理庁(ZEMA)に提出した(Daily Nation 9月27日)。

### ・政府、中国のザンビア無関税政策を称賛

政府は、中国のザンビア輸出品に対する無関税政策を称賛した。この措置により、2025 年前半だけで二国間貿易額は35.6 億ドルに達した。タンバタンバ労働・社会保障大臣は、中国の第 76 回国慶節を記念するレセプションでこの称賛を表明した(Daily Mail 9月27日)。

(了)